

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査

(1) 取組名	宇和島圏域活性化トライプログラム推進事業		
(2) 実施団体名	宇和島圏域活性化協議会	(3) 対象地域	愛媛県宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町
(4) 代表団体名	宇和島市	(5) 推薦団体名	

(6)実施した取組の内容	取組①	戦略的観光地づくりシステムの研究	
	実施主体	宇和島圏域活性化協議会、(株)観光販売システムズ	
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	
		実際の取組内容及びその結果	
	<p>(1) 圏域観光アドバイザー活動</p> <p>① 地域資源の観光商品化のアドバイス</p> <p>② 中核観光施設(森の国ホテル等3箇所)の丸ごと診断</p> <p>③ まち歩きぶらぶらマップ(10箇所)の作成</p> <p>(2) 大手旅行会社との意見交換会 実施時期 20年11月 実施場所 東京</p> <p>(3) 観光資源のデータ収集と広報媒体への活用</p> <p>① フォトデータ600点作成</p> <p>② 写真情報のデータ管理システム制作</p> <p>③ 旅行会社パンフへの掲載(3社)</p> <p>④ 旅行業界紙への掲載(2種)</p> <p>(4) 人づくり・地域づくり</p> <p>① 観光販売システムズ(株)による専門研修を実施 ・専門(50名×3回)、プロデューサー養成(10名×5回)</p> <p>② ANAを講師に、ホスピタリティ研修を実施。 ・ハイレベル研修、一般研修、出前研修(計29回)</p> <p>(5) 21年度販売の観光商品(6コース)の開発</p> <p>(6) 着地型エージェント(南レク(株))の育成</p> <p>・取組の目的: 観光客の視点に立って、人材の育成、旅行会社へのPR、観光中核施設の診断、着地型エージェントの指導・育成等を行い、本当に売れる観光地作りを目指す。</p>	<p>(1) 圏域観光アドバイザー活動</p> <p>① 10~2月、観光資源(鯛めし等約500点)をリスト化、旅行会社と協議</p> <p>② 森の国ホテルほか3ホテルを覆面調査、面談指導(10/23~1/23 6回)</p> <p>③ マップの掲載情報を収集。21年度に作成予定。</p> <p>(2) 宇和島圏域と大手旅行社企画担当者との意見交換会を実施。 実施時期 21年2月18日 実施場所 大阪(都ホテル大阪)</p> <p>(3) 観光資源のデータ収集と広報媒体への活用</p> <p>① 10~2月、プロカメラマンにより圏域の観光写真600点撮影</p> <p>② 1~2月、写真情報のデータ管理システム制作</p> <p>③ 12月~、名鉄観光、日本旅行、JTB旅物語のパンフに掲載。</p> <p>④ 2~3月、観光経済新聞、トラベルニュースに掲載。</p> <p>(4) 人づくり・地域づくり(研修37回、延961名参加見込)</p> <p>① 行政や観光事業者向け研修(10/23、11/27、1/22) 延114名参加 プロデューサー研修(10/23~2/17 計5回) 延44名参加(見込)</p> <p>② ホスピタリティ研修(ハイレベル、一般、出前) 10/14~2/10(計29回) 延803名参加(見込)</p> <p>(5) 観光6コースを開発。(一部がJTB旅物語に掲載。他社にも打診)</p> <p>(6) 観光販売システムズによる育成・指導(12/15、1/22、2月)</p> <p>・取り組みの結果: 集中的な専門研修を実施した結果、観光地としてのレベルアップが図られている一方、大手旅行社の壁は厚く、地域資源の発掘、商品開発、情報発信などの継続的・斬新な取組が必要であることを確認した。</p>	
取組②	真珠を活用した地域ブランドの創出		
実施主体	宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会		
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		
	実際の取組内容及びその結果		
	<p>1 オリジナルデザインの真珠製品(ジュエリー)の試作</p> <p>・オリジナルデザインのジュエリー 試作 5点</p> <p>・ANAのCAとのコラボレーションによる商品 3点</p> <p>・販売展開可能な百貨店の調査</p> <p>2 県内地場産業(紙、漆器等)とのマッチング 試作 5点</p> <p>3 統一イメージの作成と商標登録</p> <p>4 真珠粉を使った化粧品製品の試作</p> <p>・取組の目的: 真珠を活用した新製品・新サービスの開発を目指すとともに、真珠をイメージするまち宇和島をPRする。</p>	<p>1 オリジナルデザインの真珠製品(ジュエリー)試作</p> <p>・第1回パールデザインコンテスト入賞作を商品化に向け7種試作</p> <p>・ANAのCAとのコラボレーションによる商品3種を製作</p> <p>・三越松山店(1/22~1/25)小田急新宿店(3/4~3/14)で展示PR</p> <p>2 県内地場産業(紙、漆器等)とのマッチングで試作品6種を制作</p> <p>3 商標「シーラバース」を登録申請中(10月)、12月、ロゴマークを作成。</p> <p>4 化粧品3種を試作(2月上旬) 地元エステ店等でモニター調査。</p> <p>取り組みの結果: 真珠製品の試作や、統一商標、真珠化粧品の試作が実現し、新商品の販売に向けて真珠をテーマにした素材の整備が整いつつある。</p>	

(6)実施した取組の内容	取組③	地元食材の高付加価値化と情報発信	
	実施主体	宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会、愛媛大学	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		1ふるさとの味発信事業 (1)宇和島圏域の山海の幸の食コンテスト 実施時期 20年12月～21年1月 (2)ふるさとの味セミナーの開催 実施時期 21年1月 (3)コンテスト優秀作、鯛めしなどをANA機内食等のメニューとして検討 (4)ANAのCAとのコラボによる新作スイーツの開発 2未利用水産資源、貝肉利用魚醤の機能性評価 ・取組の目的:全日空等の協力により、宇和島圏域の料理や食材をブラッシュアップし、全国PRを図る。	1ふるさとの味発信事業 (1)パール食コンテストは、応募数69点を12月に1次審査。1/31、愛媛女子短期大学ホールでANAシェフ等により、公開2次審査を実施。 (2)ふるさとの味セミナーは、ANAエグゼクティブアドバイザーシェフの横田知義氏ほかを講師に、2月1日実施。参加60人。 (3)航空食品㈱により「鯛めしの素」「愛南柑ジュースとジュレ」等を大手百貨店の歳暮商品に納入。 (4)CAセレクトスイーツ6種を決定(12月)。2種をANAショップで販売検討。 2 2月、貝肉の機能性評価修了。魚醤:2月に試作、3月に機能性評価。 ・取り組みの結果:全日空、アサヒビールの協力により、高いレベルの食コンテストが実施できた。また、航空食品㈱により、圏域製品の売込みができた。
		取組④	四国遍路を活用した誘客社会実験
実施主体	南レク㈱		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	遍路の関係資料や遍路に造詣の深い著名人の寄稿、四国八十八ヶ所関係の資料、遍路巡拝者のメッセージ募集・アンケートを収集し、ホテルサンパールで仮設展示する。 ・実施時期 20年10月～21年3月 ・取組の目的:四国の大きな観光資源である遍路に関する資料を収集展示することにより、誘客を図る。	・著名人50人をリスト化(10～11月)寄稿依頼文を送付(12/5)、立松和平氏等15名から寄稿。また、10～12月、八十八ヶ所の各霊場を訪問し、資料(各寺の朱印)を収集。10月からアンケートを実施(1/18現在120名)。 ・2月にポスター(250部)リーフレット(500部)チラシ(3,000枚)配布。 ・2月末から 収集資料をホテルサンパールの一角に仮設展示する。 取り組みの結果:当事業が遍路関係資料収集の端緒となった。収集資料を展示することで、今後、観光客へのPRIになると考えられる。	
	取組⑤	産学官の連携による商店街活性化支援事業	
実施主体	愛媛大学		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	宇和島商店街の個々商店、商品のアピールポイントを調査分析し、商店街の活性化策を検討する。 ・実施時期 20年10月～12月 取組の目的:商店街の経営状況や消費者の意向を調査し、今後の商店街活性化の方向性を模索する。	・11/1・2、11/22、11/29に、愛大学生・教官により商店街店舗、利用者の調査を実施。1～2月に、報告書の取りまとめを行い、2/28、宇和島で報告会を実施。 取り組みの結果:調査の結果、後継者難等から空き店舗率(現在14%)上昇が懸念されるため、行政・関係機関による早急な対策を検討していく。	
(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和島圏域活性化協議会 下記団体のほか、松野町、鬼北町、愛南町で構成。 ・宇和島市(主担当:取組①の一部) 協議会代表団体。事務局(企画調整課)。ホスピタリティ研修を担当。 ・㈱観光販売システムズ(主担当:取組①の一部) 取組①中のホスピタリティ研修を除く全事業を担当。 ・宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会(主担当:取組②、③) 真珠の新製品、化粧品を試作、食のコンテストを担当。 ・南レク㈱(主担当:取組④) 		<ul style="list-style-type: none"> ・取組① 観光販売システムズが、これまでの関係を活かして、大手旅行社と粘り強く交渉し、パンフレット掲載や意見交換会を実現させた。 ・取組② 宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会が、デザイナーの助言等により真珠製品を試作した。 ・取組③ ANAやアサヒビールの協力によりレベルの高い食のコンテストが実施できた。また、販路についても目処がたった。 ・取組④ 霊場会等の協力により円滑な資料収集を行った。 ・取組⑤ 愛媛大学法文学部が授業の一環として実施した。

(7)実施体制	<p>遍路資料の収集、アンケート実施、収集資料の展示を担当。 ・愛媛大学(主担当:法文学部一取組⑤、農学部一取組②の一部) 宇和島商店街調査、貝肉の機能性調査を担当</p>	<p>・協議会事務局の宇和島市企画調整課が同市商工観光課、圏域3町の商工担当課と連携し、愛媛県南予地方局(オブザーバー)の支援を得て、短期間で、ほぼ計画通りの事業を実施。今後の展開が期待できる。</p>
(8)取組により得られた成果	○成果1→ 減少傾向にある宇和島圏域の県外観光客入込数の5%増	
	<p>H19 710千人(H18 698千人)</p>	<p>H20(当初予定していた目標) 申請時にH19値が未発表だったため、H18値の5%増の733千人を目標値とした。</p>
	H20(実際に得られた成果)	
	H20の県外観光客入込数は、未確定。従来、旅行会社のパンフに「宇和島圏域」はほとんど掲載されてなかったが、本事業により3社のパンフや業界紙2紙に掲載された。今後、「消費者に届く情報発信」に努めることにより、観光客の誘客を促進する。	
	○成果2→ 真珠ほか水産資源を活用した新サービス、新製品の開発・商品化	
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>H19 なし</p>	<p>H20(当初予定していた目標) 真珠製品・真珠粉化粧品を試作、パールエステ新しい製品・サービスを10種</p>
	H20(実際に得られた成果)	
	【試作】真珠ジュエリー試作7種、地場産業とのマッチングによる試作6種、真珠粉化粧品試作3種を当事業で制作。	
	【商品】ANAの客室乗務員とのコラボによるジュエリー3種・スイーツ6種、アコヤ貝貝肉を使った魚醤作成を当事業でコーディネート。	
	<p>・宇和島圏域を大手旅行社のパンフレットに掲載することについては、予想以上に旅行会社の壁が厚かった。今後は、当初の狙いとしていた団体パック商品に限らず、個人の観光客向け商品の開発や他地域と差別化できる商品の企画ができる人材の育成と体制づくりが必要である。 ・真珠を使った新製品の開発にあたっては、デザイナーの助言のもと、当初の計画どおりの試作品・商品の開発がされた。今後、販売組織の法人化や、現在交渉している小田急百貨店の協力を得ながら販売促進について検討していく。</p>	
(10)平成21年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
	<p>1.戦略的観光地づくりシステムの構築 モニターツアー、ぐるナビ等のIT大手によるPRを行う。</p>	<p>1.戦略的観光地づくりシステムの構築 ・実施主体:観光販売システムズ(株) ・プロデューサーや南レク(株)の育成を行い、自立的な観光振興体制づくりを行う。 ・個人向け商品開発のモニターツアー、フォトデータ(春・夏)造成、IT大手等によるPRを行う。 [活用希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1,800万円)]</p>
	<p>2.真珠を活用した地域ブランドの創出 オリジナルデザインの真珠ジュエリーの販路開拓調査、ジュエリー以外の真珠製品の商品化・販路開拓調査、真珠粉化粧品の多種類の商品化と販路開拓調査</p>	<p>2.真珠を活用した地域ブランドの創出 ・実施主体:宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会 ・真珠製品の商品化、販路開拓調査や、パールエステなど真珠活用の観光商品を開発する。 [活用希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p>
	<p>3.地元食材の高付加価値化と情報発信 水産資源抽出物質の生成、実験動物による検証</p>	<p>3.地元食材の高付加価値化と情報発信 ・実施主体:宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会、愛媛大学 ・専門店の参加による食コンテストの拡充と、抽出物質の生成、実験動物による検証を実施。 [活用希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p>
	<p>4.四国遍路を活用した誘客社会実験 実験結果の検証とその結果を踏まえた誘客展開</p>	<p>4.四国遍路を活用した誘客社会実験 ・実施主体:南レク(株) ・地元産品(大洲和紙など)を使った遍路グッズを試作するほか常設展示プランを策定する。 [活用希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額100万円)]</p>
<p>5.産学官による宇和島商店街活性化調査 愛媛大学サテライトオフィスに「宇和島商店街コンシェルジュ」を設置</p>	<p>5.産学官による宇和島商店街活性化調査 ・実施主体:愛媛大学 ・商店街マップを作成、愛媛大学学生による情報発信などの商店街活性化事業を行う。 [活用希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額200万円)]</p>	

◆主な実施取組の内容◆

取組①: 戦略的観光地づくりの研究

実施主体: 宇和島圏域活性化協議会、(株)観光販売システムズ

実施内容・結果: 37回の集中的な専門研修を実施し、観光地としてのレベルアップを図るとともに、中核的観光施設4ホテルの総合診断、観光写真データ600点のデータベース作成、観光商品開発(6コース)と大手旅行会社3社のパンフ・業界2紙への掲載を実施するとともに、旅行会社との意見交換会を実施。旅行会社の壁は非常に厚いが、地域資源を活用した魅力的な観光地づくりとPRを持続的に実施していくことを確認した。



観光事業者を対象とした観光地レベルアップ研修



中核観光施設の診断

取組②: 真珠を活用した地域ブランドの創出

取組③: 地元食材の高付加価値化と情報発信

取組④: 四国遍路を活用した誘客社会実験

取組⑤: 産学官の連携による商店街活性化事業

実施主体: 宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会、愛媛大学、南レク(株)

実施内容・結果: オリジナルデザインの真珠ジュエリー試作7種、県内場産業とのマッチング商品の試作6種、真珠粉化粧品試作3種、ANAとのコラボによる商品(真珠ジュエリー3種、スイーツ6種)の開発、ANA・アサヒビールの協力による食のコンテスト実施、アコヤ貝肉の機能性評価、遍路関係の資料(著名人寄稿、アンケート、88箇所の朱印など)収集と仮設展示、愛媛大学学生による商店街の実態調査を実施。真珠を活用した新製品、新サービスの商品化の目処がたった。また、遍路を活用した誘客や商店街活性化のための基礎事業が実施できた。



オリジナルデザインの真珠製品(試作)



愛媛大学による商店街調査

◆取組実施による成果・今後の展開◆

集中的に実施した研修の成果等により、観光地としてのレベルアップを目指す機運が高まっている。今後、実践的な人材育成等による消費者の視点に立った観光商品の開発や、IT大手等によるPR事業を行う。また、今年度試作したオリジナルデザインの真珠製品や真珠粉化粧品の商品化と販路開拓を行うとともに、真珠をテーマにした観光地づくりを目指す。あわせて、愛媛大学と連携した地域の顔である中心商店街の活性化事業や、南レク(株)が遍路の商品化による誘客の取組を強化する。